

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		141-01-01	
事務事業名		市民緑化推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2420	
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	誕生記念植樹申請者、健康まつり来場者、グリーンボックス市民登録団体					
	目的 (どうしたいか)	みどり豊かなうるおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	誕生記念植樹1本(プレート付き)、都市月間PRにおける活動(チューリップ球根の配付)、グリーンボックス市民貸出団体への花苗の配付					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
当初予算額	事業費	1,530	1,500	1,550	【事業費】 誕生記念樹購入 308千円 パンジー購入 814千円 花の土購入 104千円
決算額	事業費	1,530	1,396	—	【特定財源】
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	グリーンボックス貸出団体数	単位	団体
指標の説明	街角緑化のためにグリーンボックス(プランター及びハンギングポット)を貸し出している登録団体の数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	105	105	101
実績	105	105	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	グリーンボックス貸出団体への花苗の配付数(枯死植え替え分は含まない)	単位	株
指標の説明	貸出団体への花苗の配付数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	14,500	15,000	13,600
実績	15,000	13,600	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 緑化の推進は、地球温暖化防止やCO2の削減など、国の最重要課題の一つである。 今後においても市民自らの手で緑化を推進するためにも必要な事業である。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		141-01-02		
事務事業名		公共緑化推進事業			事務の種類			自治事務(任意のもの)	
					連絡先			内線2430	
担当部署名		みどり推進室			予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち			款	8	土木費	
	施策	4	みどり・空間整備			項	4	都市計画費	
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進			目	3	公園費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公共施設							
	目的 (どうしたいか)	みどり豊かなうおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。							
	手段 (事業内容)	公共施設への花苗及びチューリップ球根の配付し、地域のコミュニティを活性化させ環境美化等を図るものです。							

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 公共施設花苗購入 914千円	【特定財源】
当初予算額	事業費	370	1,070	1,070		
決算額	事業費	363	1,070	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公共施設登録団体数	単位	団体
指標の説明	花苗等の配布対象となる公共施設及び教育機関の数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	62	65	65
実績	62	65	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公共施設への花苗配付数	単位	株
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	7,686	7,500	7,000
実績	7,500	6,960	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 緑は、幼稚園、保育園及び小中学校への情操教育に不可欠であり、公共施設の緑化空間の演出に努める。 また、職員及び市民へのみどりの意識向上を図る。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		141-01-03				
事務事業名		緑化推進団体支援事業			事務の種類			自治事務(任意のもの)			
					連絡先			内線2420			
担当部署名		みどり推進室			予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		1	快適でうおいのある 住みよいまち			款	8	土木費		
	施策		4	みどり・空間整備			項	4	都市計画費		
	施策の方向		1	緑地の保全と緑化の推進			目	3	公園費		
事業の概要	対象 (誰を・何を)		大阪菊花会、羽曳野市みどりの推進協議会、羽曳野市緑の少年団								
	目的 (どうしたいか)		緑化推進団体の育成								
	手段 (事業内容)		大阪菊花会－菊花大会、菊花講習会、菊苗無料配布。羽曳野市みどりの推進協議会－都市月間PR活動、花苗無料配布。羽曳野市緑の少年団－駅前花いっぱい活動、緑の募金活動。グリーンフェスタはびきの、市民フェスティバルへの共催								

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 羽曳野市みどりの推進協議会助成金 300千円 大阪菊花会助成金 780千円 羽曳野市緑の少年団 616千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,938	1,938	1,654		
決算額	事業費	1,935	1,696	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	緑化推進団体数	単位	団体
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	4	3	3
実績	4	3	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	緑化推進団体登録人数	単位	人
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	300	132	150
実績	139	140	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) (大阪菊花会) コロナ禍のため菊花大会が中止になったが、本庁及び陵南の森に菊花を展示して来庁者に見ていただいた。 (羽曳野市緑の少年団) 緑の大切さを育てる心を養い、健康で心豊かな人材の育成を図る。 (羽曳野市みどりの推進協議会) 公共施設の記念植樹や花の種、冊子の無料配布により市民への緑化の意識の向上を図る。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) (大阪菊花会) 高齢化により会員が減少し、今後、若い会員の加入や育成が急務となっている。 (羽曳野市緑の少年団) 少子化により団員数が減少している。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		141-01-04	
事務事業名		菊花大会開催事業		事務の種類			自治事務(任意のもの)	
				連絡先			内線2430	
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち		款	8	土木費	
	施策	4	みどり・空間整備		項	4	都市計画費	
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	公園費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民						
	目的 (どうしたいか)	菊花の培養並びにその技術の向上、鑑賞市民の情操の融和を図り緑豊かな潤いのある街づくりを進めることを目的とする。						
	手段 (事業内容)	日本を代表する花「菊」を大阪菊花会会員や市民が育てた菊花を羽曳野市民や近畿一円の菊花愛好者に対して披露し展示する。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 菊花展示用鉢皿 34千円 菊花展示用人工芝 11千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	444	476	426		
決算額	事業費	535	74	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	菊花大会出展数	単位	展
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	80	0
実績	100	0	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	菊花大会来場者数	単位	人
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	3,000	3,000	0
実績	3,000	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 会員の高齢化に伴い、出展数の減少が予想される。 多くの市民や福祉施設等の来場者があり緑豊かな潤いのある街づくりに効果がある。 令和2年度はコロナ禍のため菊花大会は中止となり、代わりに市役所本館及び陵南の森に菊花を展示した。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 令和3年度の菊花大会は中止となりましたが、今後若い人材の育成に力を注いでいかなければならない。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		141-02-01		
事務事業名		みどりの講習会開催事業			事務の種類			自治事務(任意のもの)	
					連絡先			内線2430	
担当部署名		みどり推進室			予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち			款	8	土木費	
	施策	4	みどり・空間整備			項	4	都市計画費	
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進			目	3	公園費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	みどりの講習会受講希望者							
	目的 (どうしたいか)	季節にあったテーマを選び自然を知り、緑をふやし育てる心と技術を学習し、講習会を通じて市民自ら緑化推進を図ることにより緑の輪が全市へ広がるきっかけを作る。							
	手段 (事業内容)	季節にあった花苗を選定し、講義や実習を通して身近な家庭園芸から緑化推進を行う。							

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 教材費 142千円 【特定財源】 みどりの講習会参加費 @1,500円×61名 92千円	
当初予算額	事業費	271	271	275		
決算額	事業費	268	142	—		
	特定財源等	161	92	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名	みどりの講習会開催数		単位	講座
指標の説明				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標(見込)	3	3	3	
実績	3	3	－	

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	みどりの講習会参加人数	単位	人
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	120	120	61
実績	107	61	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 令和2年度は、コロナ禍のため講習会が中止となり参加者に花苗・部材を販売した。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) コロナ禍の中、三密を避け感染防止対策をし開催する。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		141-02-02	
事務事業名		グリーンフェスタ開催事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線2420	
担当部署名		みどり推進室			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうろおいのある 住みよいまち			款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備			項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進			目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民						
	目的 (どうしたいか)	豊かな「みどり」が人にもたらす恩恵の素晴らしさを理解してもらい、未来を担う子供たちが緑を愛し、守り、育むことを目的とする。						
	手段 (事業内容)	コロナ禍のため開催は中止となった。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】
当初予算額	事業費	1,600	1,600	375	樹木等購入 190千円 チラシ作成費 77千円 記念品代 12千円
決算額	事業費	1,108	344	－	
	特定財源等	0	0	－	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	グリーンフェスタ開催数	単位	回
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	0	0
実績	1	0	－

【特定財源】

「事業の参考数値等」

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症

成果指標			
(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名	グリーンフェスタ来場者数	単位	人
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	4,000	0	0
実績	4,000	0	－

個別評価		
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 市民参加のイベントとして、市民が集う時にみどりの大切さと意識高揚を図るためにも必要である。 コロナ禍のため、第12回グリーンフェスタはびきのは、中止となったが、代わりに各協賛団体へアジサイの花苗を配付した。	今後の改善内容 (令和3年度以後の事業実施への改善内容) 第13回グリーンフェスタはびきのは、中止となりましたが、次年度開催に向けて、来場者の増加をめざして、内容等の検討を行って行います。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		141-03-01				
事務事業名		アドプトロード推進事業		事務の種類			自治事務(任意のもの)			
				連絡先			内線2420			
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		1		快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費	
	施策		4		みどり・空間整備		項	2	道路橋梁費	
	施策の方向		1		緑地の保全と緑化の推進		目	2	道路舗装改良事業	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		地元小学校・中学校、高鷲駅前を育む会							
	目的 (どうしたいか)		本会は、地域の顔である近鉄南大阪線「高鷲駅」周辺を行政・地域住民を含めた多様な関係者が協働して「美しく魅力あふれる駅前の空間づくり」を行なうとともに、この活動を通じて、地域の和を育み、心豊かな人づくり・笑顔と活気あふれるまちの創造を目指す。							
	手段 (事業内容)		小・中学校に土と花苗を支給し、学校内で育て、育苗後の花を学校緑化及び高鷲駅前に高鷲駅前を育む会とともに定植し、緑化推進を行う。							

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 花苗 204千円 土 109千円 肥料・石灰 34千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	360	480	480		
決算額	事業費	346	383	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	地元町会及び小・中学生の参加人数	単位	人
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	200	200	200
実績	200	200	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	高鷲駅前周辺のプランター及び花壇への花苗の定植数	単位	株
指標の説明			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	3,000	3,000	3,000
実績	3,000	3,000	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
平成19年度から始まり、令和3年度で15回目を迎え、年2回夏と冬の定植を行って来ている。	
夏は羽曳野市、冬は大阪府で行っているが、令和2年度から大阪府の予算削減のため、羽曳野市単独での予算をしている。	
コロナ禍のため、令和2年度夏・冬の定植は、小学生は参加出来なかった。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
令和3年度もコロナ禍のため、夏の定植については、小学生は学校で水やり等の育苗作業を行い、定植作業は、地元町会ならびに富田林土木事務所及び羽曳野市で実施したが、冬の定植については、コロナ感染防止対策をし小学生を交えて実施する。